



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月3日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻原 英俊 TEL 0268-82-3000
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	10,078	8.2	802	△7.7	820	△16.4	650	△6.2
2018年3月期第1四半期	9,317	14.0	869	17.6	981	577.0	694	380.4

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 834百万円(17.5%) 2018年3月期第1四半期 710百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	32.56	32.12
2018年3月期第1四半期	34.73	34.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	55,370	32,492	58.4
2018年3月期	56,476	31,857	56.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 32,347百万円 2018年3月期 31,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	13.00	—	10.00	23.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	10.00	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	8.6	1,550	△11.2	1,580	△16.5	1,000	△25.2	50.03
通 期	45,500	7.5	3,400	9.6	3,500	4.3	2,200	49.0	110.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、 除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	22,272,000株	2018年3月期	22,272,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	2,284,382株	2018年3月期	2,284,382株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	19,987,618株	2018年3月期1Q	19,987,645株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益および雇用情勢の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外におきましては、米中の貿易摩擦等を要因に景気の下振れリスクが懸念される等、不透明な状態が継続しております。

当社グループの属する射出成形機業界におきましては、国内および海外共に需要が堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機売上高が国内をはじめ米国およびアジア地域において堅調に推移したこと等から売上高合計は100億7千8百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上高が77億9千3百万円（前年同四半期比11.5%増）、金型等の売上高が3億4千5百万円（同21.8%増）となりましたが、周辺機器売上高は6億7百万円（同13.7%減）、営業部品の売上高が13億3千万円（同0.8%減）となりました。

利益面につきましては、営業利益は8億2百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。経常利益は為替差損1億8千6百万円を計上したこと等により8億2千万円（前年同四半期比16.4%減）となり、これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億5千万円（同6.2%減）となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

自動車関連を中心に堅調に推移したことから、売上高（外部売上高）は48億8千8百万円（前年同四半期比7.9%増）となりましたが、セグメント利益は4億2千2百万円（同39.3%減）となりました。

②アメリカ地域

自動車関連を中心に堅調に推移したことから、売上高（外部売上高）は24億9百万円（前年同四半期比12.4%増）となりましたが、セグメント利益は1億3千2百万円（同36.9%減）となりました。

③アジア地域

自動車関連およびIT関連を中心に堅調に推移したことから、売上高（外部売上高）は27億8千万円（前年同四半期比5.2%増）となりましたが、価格競争が激化したこと等からセグメント利益は8千8百万円（同40.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ11億5千万円減少し、553億7千万円となりました。主たる増加要因は、現金及び預金の増加11億2千1百万円および原材料及び貯蔵品の増加5億5千6百万円ならびに仕掛品の増加3億4千3百万円であり、主たる減少要因は、未収入金の減少21億1千7百万円および受取手形及び売掛金の減少15億9千5百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ17億4千万円減少し、228億7千8百万円となりました。主たる減少要因は、支払手形及び買掛金の減少7億1千3百万円および未払法人税等の減少5億6千3百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ6億3千4百万円増加し、324億9千2百万円となりました。主たる増加要因は、利益剰余金の増加4億5千万円であります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、2018年5月7日に公表した各予想値を修正しておりません。今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要な場合には、可及的速やかに開示することといたします。

当社グループといたしましては、世界規模で進展する市場に対し、製版財一体となった連結経営機能を発揮し、高収益企業としてグローバルな展開を図り、自力成長力を強化いたします。また、最適地生産体制を構築し、生産技術力と品質保証体制を強化すると共に、グローバル調達推進と内製化の推進により更なるコストダウンを図ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,441	13,562
受取手形及び売掛金	9,946	8,351
電子記録債権	717	672
商品及び製品	5,623	5,822
仕掛品	2,055	2,399
原材料及び貯蔵品	5,707	6,263
未収入金	5,266	3,148
その他	459	760
貸倒引当金	△512	△447
流動資産合計	41,704	40,532
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,946	4,826
機械装置及び運搬具（純額）	1,313	1,290
土地	4,376	4,393
その他	2,211	347
有形固定資産合計	10,848	10,858
無形固定資産	450	453
投資その他の資産		
投資有価証券	1,730	1,743
その他	1,745	1,785
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,473	3,526
固定資産合計	14,771	14,837
資産合計	56,476	55,370

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,511	14,798
1年内返済予定の長期借入金	767	644
未払法人税等	705	142
引当金	230	330
その他	2,518	2,216
流動負債合計	19,733	18,132
固定負債		
長期借入金	1,499	1,387
退職給付に係る負債	3,199	3,182
その他	185	176
固定負債合計	4,884	4,746
負債合計	24,618	22,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,477	5,477
利益剰余金	21,325	21,776
自己株式	△1,096	△1,096
株主資本合計	31,069	31,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	595	603
為替換算調整勘定	△1	179
退職給付に係る調整累計額	50	44
その他の包括利益累計額合計	643	827
新株予約権	144	144
純資産合計	31,857	32,492
負債純資産合計	56,476	55,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	9,317	10,078
売上原価	6,464	7,135
売上総利益	2,853	2,942
販売費及び一般管理費	1,983	2,140
営業利益	869	802
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	90	114
その他	59	91
営業外収益合計	151	209
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	27	186
その他	9	3
営業外費用合計	39	191
経常利益	981	820
税金等調整前四半期純利益	981	820
法人税等	287	169
四半期純利益	694	650
親会社株主に帰属する四半期純利益	694	650

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	694	650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	8
為替換算調整勘定	△42	180
退職給付に係る調整額	4	△6
その他の包括利益合計	15	183
四半期包括利益	710	834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	710	834

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	4,529	2,144	2,643	9,317
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,052	7	1,712	5,772
計	8,582	2,151	4,356	15,090
セグメント利益	696	209	149	1,055

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,055
セグメント間取引消去	△186
四半期連結損益計算書の営業利益	869

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	4,888	2,409	2,780	10,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,689	10	1,457	5,156
計	8,577	2,420	4,237	15,235
セグメント利益	422	132	88	643

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	643
セグメント間取引消去	158
四半期連結損益計算書の営業利益	802

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。